



コロナ禍での夏に思ったこと

今夏、東京オリンピック・パラリンピックが、1年延期されて開催されました。アスリートのみならずには、たくさんの元気と感動をもらいました。この大会では、競技とは別に、「共生社会」に向けてたくさんのメッセージが発信されました。世界基準は、「多様性を積極的に受け入れる寛容な社会である」ということに、改めて気づかされた大会でした。時代を読み間違えて主要な関係者が大会直前に解任されるということもありました。

パラリンピックの聖火は、日本各地から集火されました。西郷村代表は本校高等部3年の櫻井眞尋さんと齋藤友博さんがつとめ、大役を果たしました。さらに、第9回特別支援学校作業技能大会では、高等部の木工班と窯業班がそれぞれ最優秀品質賞を受賞しました。いい製品を作るために、日頃から生徒同士が助け合い、工夫し合っていることが評価されたものと思います。

夏休み中、例年であれば、各地の花火大会、キャンプ、各テーマパークへの旅行、親戚の家への旅行など楽しく過ごすところ、今年の夏は、手持ち花火で楽しんだり、庭でバーベキューをしたり、海水浴に代えて近所の川で遊んだり、各家庭で感染症対策のために工夫していただきました。いつもより規模は小さくても写真に写っている子どもたちの笑顔は何も変わらず、素晴らしい笑顔だと感じました。学園でも先生方が園内で夏まつりを企画していました。保護者の皆様、学園の先生方、ありがとうございました。



校長 阿部和行



高等部作業班の製品

社会性の発達アセスメントの評価について学びました

特別支援教育セミナー2021

県南地区の保育園、幼稚園、小・中学校、高等学校の教職員、関係機関の職員と本校職員、約200名が参加するセミナーが行われました。筑波大学附属大塚特別支援学校教諭の若井広太郎先生によるリモート講演では「知的障がい教育における社会性の発達アセスメントと支援～人とかかわる力を高める支援実践～」という演題で講話をいただきました。人とかかわる協同活動について、支援実践やアセスメント評価の演習を交えながら、分かりやすくご指導いただきました。



セミナーの様子



〈会場を分散して行いました〉

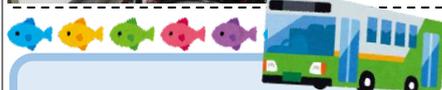




羽太小学校との交流学習

今年度の羽太小学校との交流は、動画やメッセージカードでのやり取りを行いました。動画は、小学部12、13組の児童が中心となり、自分たちで役割分担をして、校舎内の様子や学校での取り組みを撮影して紹介しました。折り紙や野菜スタンプなど自分の得意なことを生かしてメッセージカードを作り、届けることができました。

小学部



小学部修学旅行

7月9日（金）に観光バスでいわき市へ行ってきました。観光遊覧船「サンシャイン・シーガル」では、カモメに餌やりをしながら小名浜港でのクルージングを楽しみました。アクアマリンふくしまでは、「トドと一緒に写真を撮る」「ニモを見つける」などの事前に決めたミッションに挑戦しながら、たくさんの生き物を見学することができました。最後には自分や家族へのお土産も購入し、笑顔いっぱいの日となりました。



総合的な学習の時間

中学部では、生徒たちが日常生活や身の周りに目を向けた時に、「なんで」「どうなっているの」等の自然に湧いてくる疑問や関心（課題）をテーマに掲げ、「総合的な学習の時間」として年間を通じ、各学年で実施しています。調べ学習や校外学習、体験的な学習等、様々な方法で情報収集を行い、明らかになった考えや意見をまとめ、中学部の大テーマである「僕たち私たちの豊かな未来を描こう」につなげています。

中学部



第1学年は、『福島をもっともりあげ隊！』をテーマとして、福島県の3地域の特産物や文化、自然について調べ学習や体験をしています。6月の校外学習では、白河市の菓子店へ行き、自分が食べたい物を選んだり、お菓子について質問をしたりしました。浜・中・会津の菓子を比べて感想をまとめるなどの学習も行いました。



第2学年は、『日本の中にある世界』をテーマとして、身近な施設や身の回りにある外国の文化や言語について学習や体験をしています。6月の校外学習では、新白河駅や東横インに行き、駅構内やホテルの中に隠れている外国語を探す活動をしました。駅では、外国人の利用者がいたことで、より日本の中にある世界を肌で感じることができました。



第3学年は、JA ゆめみなみの職員さんを講師として招き、バケツ稲体験を行っています。当日は天気にも恵まれ絶好の田植え日和となりました。生徒たちはまだまだ小さい稲を自分のバケツに丁寧に植えて、満足そうな表情でした。毎日観察を行いながら今秋の稲刈りと収穫を楽しみにしています。



令和3年度 高等部 第1学年学習旅行

7月16日(金)に、学年集団の連携を深めたり、公共の施設を利用する気持ちを育てたりすることを目的として、学習旅行を実施しました。前日までの梅雨空が嘘のように晴れ渡り、朝から天候に恵まれた一日となりました。

「那須どうぶつ王国」では、普段は見ることのできないめずらしい動物を間近で見たり、餌やりを体験したりするなど、動物とのふれあいを楽しむことができました。



8/5 (木) 第9回特別支援学校作業技能大会

今年度は、郡山支援学校と郡山市労働福祉会館の2会場に分かれて大会が行われました。本校からは検定部門に2名の生徒が参加、そして、作業製品品評部門には4つの作業班から選りすぐりの製品を出品しました。これまでの練習の成果や普段の作業学習の成果を發揮し、素晴らしい成績を取ることができました。



< 大会の結果 >

- ビルクリーニング検定部門
 - 齋藤友博：ダスタークロス2級、モップ1級、テーブル1級
 - 塩田綾加：ダスタークロス1級、モップ1級、テーブル1級
- 作業製品品評部門
 - 最優秀品質賞：ベジタブルボックス(木工班)、丸皿(窯業班)
 - 金賞：カフェトレイ(木工班)、カップセット(窯業班)



やしお祭 校内発表会

小学部

小学部は、5グループに分かれて校内発表を行いました。例年のような保護者の方に見ていただく発表とは異なり、映像での発表となりましたが、子どもたちはそれぞれのグループで練習や撮影を楽しみながら取り組むことができました。撮影を終え、完成したVTRを鑑賞した際には、画面に映る自分や友達をうれしそうに見つめる姿が見られました。



中学部

中学部は、学級ごとに動画撮影を行いました。普段行っている学習をアレンジし、様々な活動に取り組みました。生徒一人一人の個性があふれる楽しい作品に仕上がっています。チャンネル名を考え、動画撮影をする姿はまさに Nishi Tuber! 学級はもちろん、中学部として1つの映像作品を作ることを目標に掲げることで、一致団結して取り組み、友達との「絆」を深めることができました。



今年度のやしお祭は、新型コロナウイルス感染予防のため、残念ながら校内発表となりましたが、【スマイル～みんなの笑顔が輝く未来へ～】のテーマのもと、一人ひとりが輝く笑顔で日々の学習の成果を発揮することができました!



高等部

高等部はやしお祭の代替行事として、「高等部作業製品校内販売会」を計画しました。現在各作業班では、販売会に向けて生徒全員が一丸となって製品作りに取り組んでいます。一つ一つ心を込めて製作していますので、作業学習の成果をぜひご覧になりお買い求めください。高等部の保護者の方々を対象に、12月17日(金)に実施する予定です。

